

広い視野・倫理観・感性 そして社会人基礎力

学長 香川 征 (かがわすむ)



徳島大学入学を 心から歓迎します

徳島大学への入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。今、日本は超高齢社会・少子化問題がいよいよ顕著になり、社会保障問題を含め、経済の立て直しが喫緊の課題となっております。また、将来の日本を担う人材育成も急務なこととして、特に大学に求められています。

我々は今後、将来の予測が困難な時代を迎えようとしています。このような時代を迎えるにあたり、様々な変化、状況に対応できる能力が必要となってきます。

社会の複雑性、多様性、変化性に対処できる人間力をこれからの大学生活で身につけるよう、前向きで有意義な大学生活を楽しく過ごされることを心より願っています。

倫理観・感性を持って、 広い視野を持つ

大学での学問は今までと違い、深い探究心に基づく本当の知識を身につけることです。また、専門的知識と教養的知識のバランスも

必要です。すなわち柔軟な見方や広い視野を持って、幅広い知識に基づく確かな理解力や判断力、コミュニケーション力を身につけることが重要です。一見無駄と思えるような知識も積極的に取り入れ、受験勉強のような正解が1つという答えを求めるスタイルを変えることが重要です。そしてそれらの知識は倫理観に裏打ちされたものでなければなりません。そうでなければ、その知識は本当の意味での知識ではありません。それには

自分の感性を磨くことが重要です。倫理観を持った感性が人間力を高めます。

「社会人基礎力」を 養ってください

社会人基礎力とは、①前に踏み出す力・主体性、働きかけ、実行力です。失敗を恐れず自ら一歩踏み出す行動力が必要です。失敗しても他者と協力しながら粘り強く取り組むことが求められます。②考え抜く力・分析、解決力、計画創造です。物事を改善していくためには、常に問題意識をもち、課題を解決するための方法やプロセスについて十分納得いくまで考え

抜くことが必要です。③チームで働く力・発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性です。自分の意見を的確に伝え、意見や立場の異なるメンバーも尊重したうえで、目標に向け共に協力することが必要です。(※参照 経済産業省編「社会人基礎力育成の手引き」)

グローバル化時代を 生きている意識を 持ちましょう

情報が溢れている時代、世界が狭くなっていく時代に、自分の世界以外は理解しない、あるいは異文化から離れようとしたり拒絶することは、むしろ自分を否定していることとなります。

日本が経済成長を遂げ安定した時代はすでに通り過ぎました。一流会社就職し、終身雇用、年功序列といった時代は終わりました。世界の動き、変化に合わせたグローバルキャリアプランを考えてください。

徳島は気候、自然に恵まれ、食べ物もおいしい土地です。健康に留意し、楽しく有意義な学生生活を送られるよう願っています。

副学長の新生歓迎の言葉

大学で何を学ぶのか、 「規矩」と「事をなす術」

副学長理事(教育担当) 高石 喜久 (たかいしよひき)



徳島大学へ入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。昨年は徳島大学にとりまして大きな出来事がありました。徳島大学工学部卒業生の中村修二さんがノーベル賞を受賞されました。我が徳島大

学にとりまして栄誉なことであり、中村先生が学んだ学舎で皆さんが学べることは幸せなことだと思います。私たち教職員一同は、皆さんがこの恵まれた環境で充実した学生生活を過ごし、皆さんの夢(ある人はノーベル賞)を叶えていた

くため精一杯のお手伝いをしたいと考えています。

人は何のために 学ぶのでしょうか

一万円札をご覧下さい。そこに描かれている先生は貧しい武士の家に生まれましたが、長崎で蘭学を学び、幕府の軍艦咸臨丸(かんりんまる)で渡米、その後渡欧し見聞を広めた後、学問を修め日本の近代化に大いに貢献しました。先生の人生の分岐点は学問を修めることでした。先生の若者へのメッセージが名著「学問のすすめ」です。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり、人は生まれながらにして貴賤貧富の別なし。ただ、学問を勤めて物事を良く知るものは貴人となり富人となり、無学なる者は：」生まれたときは平等だが学問をすればとしない人生が決まると言っています。では、講義を聴き、本を読んで学ぶだけで良いのでしょうか。先生は「学問は事をなすの術なり」と言っています。この事をなすは重要で、その道(皆さんがこれから進む専門分野)での一流(プロ)になる事です。更に学問は自分が偉くなるため、金持ちになるためにするものではないとも言っ

ています。では何のために学問をするのでしょうか。先生は「個人が独り立ちする」ためだと言っています。個人が独り立ちするとはどういうことでしょうか。

大学で何を学べば よいのでしょうか

幕末の志士吉田松陰は①「学問とは人間いかに生きていくべきかを学ぶものだ」と言っています。福沢諭吉は②「学問は事をなすの術なり」と言っています。大学の教育は①が教養教育で②が専門教育に当たると言います。では、①「人間いかに生きていくべきか」とは何を学べばよいのでしょうか、それは坪内逍遙が小説神髓に書いた「詩歌と文、舞踏といふ、皆それぞれ規矩(きく)をそなえ」と書かれている「規矩(きく)、考えや行動の基準とするもの、個人が独立して歩むための行動規範」という言葉で表せると思います。英語で表しますと CRITERION(判断の基準)になると思います。皆さんは大学で学ぼうにこの「規矩」を身につけて頂きたいと思えます。この「規矩」を身につけることにより、福澤先生の言われている「個人が独り立ちする」が成立します。

徳島大学の学士課程における 学位授与の方針

徳島大学では皆さんが卒業するまでに身につけて頂きたい事柄として学位授与の方針「徳島大学の学士課程を卒業する者は、知と実践に渡る体系的な教育を通じて進取の気風と社会を生き抜く力を身につけ、志を持って学び、感じ、考え、熱意を持って未来を開拓していく人材である」を定義しています。これは前述の「規矩」と「事をなす術」を得る基本だと私は考えています。「進取の気風」とは、従来の慣習にとらわれず進んで新しい事をやろうとすること、「社会を生き抜く力」は人間力すなわち「規矩」を身につけることです。そして「志を持って学び」は、学ぶ目的意識を持ち、「感じ、考え」は、ただ先生の講義を聴くだけでなく、何故学ぶのか、何のために学ぶのかを感覚で感じ(左脳)、主体的に考え(右脳)「熱意を持って未来を開拓していく」は決して諦めず世界の未来を切り拓く人材を養成することを示しています。この人材を養成するため、私は皆さんの意見を聴きながら国立大学としての使命を果たしたいと考えています。



総合科学部
総合理数学科 4年
西條 静奈
(さいじょう せいな)

徳島大学へようこそ。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

長い受験生活も終わり、これからたくさん楽しいことがあると思います。私が一番、新入生の皆さんに言いたいのは、「様々なことに挑戦してほしい」と言うことです。大学で初めてした、ということをとたくさん増やしてほしいと思います。そのきっかけとして、ボランティアに参加したり、バイトをしたり、サークルに所属したり自分からなにかを始める機会はたくさんあります。

大学生活は四年間しかないのです、自分がしたいことにむかってまっすぐ突き進んでほしいです。なにかに迷ったり、分からなくなったときはまわりの友だちや先輩、家族に頼って一步一步進んでいってくださいね。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今は新生活への期待で胸が膨らんでいることと思います。

さて、私から皆さんにお伝えしたいことは、在学中に「もつと知りたい、調べたい」と思える教科・分野を1つでいいので見つけて欲しいということ。入学早々また勉強の話?と思われたかも知れません。確かに、部活動やサークル活動、バイトに旅行といったことも大学生活の重要な要素です。しかし、義務感が先にたつ高校までの「勉強」とは違った、自分の興味のある分野を主体的に学ぶ「学問」の楽しさに気づいたらより充実した大学生活が待っていること間違い無しです。大学側も、そういった学生へのサポートは惜しまないはず。 「何でも教えてもらえる」という学生期間限定の特権を生かして、是非学生生活を満ちたものにしててください。



医学部
医学科 4年
杉本 達朗
(すぎもと たつろう)



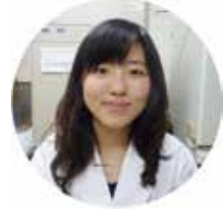
歯学部
歯学科 6年
江川 文浩
(えかわ ふみひろ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

受験を終え、新たな生活に對しささまざまな期待や不安を抱いているかと思えます。

大学では今まで以上に自由な時間が増え、それを何に使うのかは本当に人それぞれです。ただ、せっかく環境が変わったのならそれを有効活用しないのは勿体ないかと思えます。部活に打ち込むのも素晴らしいことだし、アルバイトを通じて新たな環境に身を置くのも楽しいかと思えます。どちらにせよ大事なことは「自分で考え、行動する」ことかと思えます。常に試行錯誤を繰り返していく中で自身の成長は得られるかと思えます。

月日が経つのは本当に早いです。様々なことに挑戦し、皆さんの大学生生活が豊かなものとなることを心より願っています。



薬学部
創製薬科学科 4年
大場 有希子
(おおば ゆきこ)

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

入学当初は大学での授業や一人暮らしなど初めてのことが多く心細くなることもありましたが、フルバンド部に入り、先輩や友人との出会いが私の不安を解消し、大学生活を充実させてくれました。大学生活のスタート地点に立つ皆さんに、私から伝えたいことは、人との繋がりを大事にしてほしいということ。大学生は、これまでと比べて自由度が増すとともに、自分の行動に対する責任が重くなります。

私自身、色んな場面で悩むことがありましたが、周りの人に支えられて乗り越えられてきたと思います。

これから皆さんを様々な出会いが待っていると思いますが、一つ一つの出会いを大事に満ちた大学生生活を送れることを心より願っております。



工学部
知能情報工学科 3年
森川 詩音
(もりかわしおん)

徳島大学へようこそ！
僕が入学してまだ間もない頃、部活を立ち上げるためにサークル創立届を提出しました。趣味であったスポーツクライミングを徳島の学生に啓蒙するために自ら動く部長として活動しています。生の岩が沢山あるのも、自然豊かな徳島だからこそです。

また「新町カウントダウン」というイベント団体にも所属しています。学生が主体となってボランティアで運営しており、徳島の年末を盛り上げるべく一年を通して活動しています。3千人のお客さんの笑顔と共に新年を迎える瞬間は最高の一言です。徳島でできることは勉強や部活、ボランティアだけではありません。まだまだ沢山あるでしょう。気が付けば僕も3年生……。学生生活はあっという間です。徳島大学に入学したことに自信をもって、貪欲に、活発に！有意義で濃密な学生生活を送りましょう！



全学共通教育センター
センター長
荒木 秀夫
(あらかき ひでお)

全学共通教育センター

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。この春からいよいよ大学生として新しい学生生活を歩むこととなりますが、みなさんは大学の授業について、どのような期待を持っていますか。おそらく、それぞれの学部で行われる専門の授業をイメージしている人が多いのではないかと思います。しかし、大学入学後の最初の年には、すべての学部の学生が「全学共通教育」を中心に授業を受けることとなります。

大学の歴史は、800年ほど前のヨーロッパから始まりましたが、その時代には、哲学、数学を中心に、広くものの考え方、捉え方を学ぶという場でした。その後、実学的ないろいろな分野も学ぶようになり、これが学部の始まりといえます。「考え方、捉え方」を学ぶことは現代の大学でも受け継がれ、その教育こそが「教養教育」であり、教養教育を含んでいるからこそ大学教育であるとされています。全学共通教育は、教養教育

を中心とした教育であり、それを学ぶことが大学生の証しともいえます。

みなさんは、おそらく専門の授業に対して大きな期待を抱いていることと思いますが、まずは、大学生として社会や自然のあり方に対する見方を養い自らの生き方をしっかりと捉えるためにも教養をしっかりと身につけて欲しいと思います。

全学共通教育では、教養教育とともに、高校から大学へとスムーズに入れるように、授業以外でも、自学自習のための教材を用意し、学習についての相談室を設けています。ぜひこれらを有効に活用して、充実した学園生活を送ることを心より願っています。

(私たちも応援します)



学務部 教育支援課 共通教育係
山口 恵理子
(やまぐち えりこ)

教育支援課

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新入生のみなさんが最初に学ぶ授業に、「全学共通教育科目」があります。全学共通教育科目は、①「大学入門科目群」、②「教養科目群」、③「社会性形成科目群」、④「基盤形成科目群」、⑤「基礎科目群」の5つの科目群から構成されています、あらゆる専門分野の基礎となる授業です。これらの授業の中から、自分で学びたい授業を選び1人1人で時間割をつくり

ます。たくさん授業題目の中から、時間割をつくるのは大変な作業ですが、全学共通教育履修の手引や全学共通教育授業概要(シラバス)をよく読み、慎重に履修登録してください。

また、高校までとは違って大学では、毎朝先生が教室に来て、一日の予定を教えてくださいということはありません。休講情報や教室変更、教員からのお知らせ、試験に関することなど、重要なお知らせは教務事務システムからメール

で配信されるか掲示板に掲示されています。毎日少なくとも一度は、共通教育4号館1階の全学共通教育掲示板・電子掲示板を確認するように心掛けてください。教務事務システムから配信されるメールを、携帯に転送することが可能です。各自で登録することをお勧めします。

全学共通教育では、多種多様な内容を学べるだけでなく、学部を越えて、学生や先生方と交流することができ、自分の視野を広げる絶好のチャンスです。興味や関心のあることに積極的にチャレンジして、自分の可能性を引き出し、有意義な大学生活を過ごしてください。

全学共通教育の授業を履修していく中で、悩んだり戸惑ったりしたときは、教育支援課共通教育係(共通教育4号館1階)へ相談にきてください。これから新入生のみなさんが充実した大学生活を送れるようしっかりとサポートできればと思います。

私たちも応援します



附属図書館

図書館企画課 図書情報係
西本 沙知子 (にしもと さちこ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。図書館には多くの資料があります。勉強用の参考図書はもちろん、小説や新書のほか、雑誌やCD・DVD、江戸時代の古書まであります(一部貸出制限あり)。これら資料を「借りる」以外に、図書館でどんなことができるのか紹介します。

図書館は常三島キャンパスに本館、蔵本キャンパスに蔵本分館があり、どちらの図書館も利用することができます。それぞれ様々な施設やスペースがあります。インターネットに接続されたパソコンや無線LANの利用、友達と話し合いながら勉強できるラーニング・コモンズやグループ研究室、飲み物や軽食をとれるスペースな

どもあります。話しながら勉強する、静かに勉強する、リフレッシュするなど、いろいろな形で過ごすことができます。

ところで、大学での勉強方法は高校までとは大きく変わり、戸惑うこともあると思います。そんな時にも図書館を利用してください。図書館では学習サポートを行っており、本館では先生や先輩学生に相談することができます。Study Support Space を実施しています。レポートの書き方や勉強の仕方、授業の内容などで困ったことがあれば、気軽に質問しに来てください。他にも「レポートに役立つ本の探し方」などの講習会も行っています。

また、図書館ではイベントも開催しています。学生の皆さんに図書館に置く本を選んでもらう「ブックハンティング」、要らなくなった本を再利用する「本のリユース市」、各種展示会：。イベントなどの情報は、図書館ホームページやメールマガジン「すだち」でもお知らせしていますので是非チェックしてください。図書館を活用すれば、学生生活

をより楽しめます！ちょっとしたことも図書館の利用についてわからないことがあれば、1階カウンターへ気軽におたずねください。

図書館ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

メールマガジン「すだち」
(登録制)
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/>



保健管理・総合相談センター

受付(インテーカー)
井上 陽子 (いのうえ ようこ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保健管理・総合相談センターは、保健管理部門と総合相談部門より構成されており、心身共に健康な学生生活を送れるよう支援しています。受付担当職員である私は、最初の窓口となり、皆さんをご案内しています。

保健管理部門には、内科医師、精神科医師および保健スタッフがあります。体調が悪くなった時には内科医等による診察や応急処置を受けることができます。心の健康に関する相談や治療は予約制で、精神科医が対応しています。また、春の定期健康診断をはじめ、さまざまな健康診断を通じて、心身の健康管理・指導を行っています。測定機器(身長・体重・血圧・視力・骨密度・貧血等)や体力作りにも利用できる運動機器(ランニングマシン・エアロバイク等)も備えている他、健康増進のための健康教室も定期的に開催しています。

総合相談部門には、臨床心理士の資格を持つ専任教員がいます。修学上の悩み、進路に関する悩み、友人、部活動、バイト先と言った人間関係や精神面の問題、ハラスメント等、学生生活にまつわるさまざまな相談に応じています。また、悪質商法等の法律問題については、法律アドバイザーがおり相談に応じている他、適宜関係する専門機関の紹介も行っています。相談においては、インテーカーが簡単に相談内容を確認した上で専任教員等との面接の予約を取ります。また、学生同士の交流の場としてグループワーク(ほっとの会)や茶話会(ほっとカフェ)を定期的

に実施していますので、ぜひご参加ください。
なお、蔵本キャンパスには、保健室と蔵本総合相談部門が蔵本会館2階にあり、保健管理部門の保健スタッフ1名と総合相談部門の専任教員1名が常駐しています。
体の不調、心の不調や悩みは、ひとりで抱え込まずに、気軽に保健管理・総合相談センターを利用してください。より良い学生生活を送れるよう応援しています。



利用案内
利用時間 月～金 8:30～17:15(共通)
常三島キャンパス: 共通教育5号館1階
蔵本キャンパス: 蔵本会館2階
●保健管理部門
Tel:088-656-7289(常三島)
Tel:088-633-7591(蔵本)
●総合相談部門
予約制となっていますので下記までご連絡下さい。
Tel:088-656-7637(常三島・蔵本共通)
E-Mail: hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp

キャリア支援室

キャリア支援室長
成行 義文 (なりゆき よしふみ)

新入生の皆さん、徳島大学へのご入学おめでとうございます。これから4年あるいは6年間、幅広い教養と確かな専門知識を身につけ、社会で活躍できる職業人として羽ばたけるよう将来の目標に向かって充実した学生生活を送っていただきたいと思っています。
キャリア支援室は、キャリア教育と就職活動支援を担当しています。

キャリア教育としては、総合科学部と工学部を対象とした正課授業の中で、自己分析・適性把握、キャリアプランの立て方、業界・企業分析、社会人基礎力等に関する授業を行うとともに3年次には短期インターンシップも実施されています。

就職活動支援としては、全学部・大学院を対象として、合同企業説明会や就職ガイダンスの開催、キャリアカウンセラーによる就職相談等々、きめ細かな支援を行っています。

禁となりエントリーシートの受付が始まる学部3年次あるいは大学院(修士課程)1年次の3月です。企業の採用試験等は8月以降、また採用内定は10月以降となります。いずれにしても就活は短期決戦です、各自の周到な事前準備が不可欠です。
キャリア支援室には、多くの有用な就職情報等が整備されていますので是非ご利用ください。



情報センター

情報センター 情報統括部門 准教授
松浦 健二 (まつうら けんじ)

ようこそ徳島大学へ。
ご入学に際し、希望に胸躍らせていることと思います。情報センターとしても、皆さんのキャンパスライフをしっかりと支援したいと思っています。

情報センターでは、全学的にネットワークや様々な情報システムを企画・導入・管理・運用し、学生の皆さんや教職員の方々に日々ご利用いただいています。これらは、大学や社会と皆さんの間に介在する不可欠なメディアであり、チャネルとも言えます。大学では、高校以前とは比較にならない

いほど、多種多様なシステムがあります。ほとんどのシステムは、徳島大学の公式ウェブサイトから辿れますが、本センターが関係するところでは、以下のようなシステムに主に接することになります。
●教育用コンピュータ端末…授業や自習等で利用できます
●無線LAN…モバイル端末を無線ネットワーク接続できます
●全学的なメール…大学のアドレスを提供しています
●徳島大学総合ポータル…本学構成員のコミュニケーションサイトです
●図書館システム…図書館の利用に関するシステムです

●教務システム…履修登録や成績参照などにご利用いただけます
●学習管理システム…授業支援や自習支援として教材閲覧や課題提出ができます

このようにシステムは沢山ありますが、セキュリティには十分注意してご利用ください。また、スマートフォンなどへの対応も進めておりますが、使い方がわからないとか、不具合、トラブル等に面した際には、本センターのサポート窓口を是非ご訪問ください。



情報センター(常三島キャンパス)

利用案内
●情報センター(常三島キャンパス)
月～金…8:30～17:15
Tel:088-656-7557
●蔵本分室(蔵本キャンパス図書館1階)
月～金…8:30～17:15
Tel:088-633-7708
情報センターホームページ
<http://www.tokushima-u.ac.jp/ait/>
その他お問い合わせは、以下のメールアドレスまで
callcenter.ait@tokushima-u.ac.jp

国際センター

国際センター准教授

坂田 浩 (さかたひろし)

徳島大学へのご入学おめでとうございます。私たち国際センターは、徳島大学における国際交流の拠点として、そして、留学生・日本人学生・教職員・地域を結ぶ「架け橋」として、様々な活動を展開しています。国際センターは、サマースクール「徳島で会おう」、「国際展開推進シンポジウム」などの様々な国際交流事業を支援する「国際交流部門」、留学生に対する日本語教育や日本語教師を目指す日本人学生の育成支援を主に行う「教育部門」という2部門で構成されており、お互いに協力しながら大学全体の国際化を推進する活動を展開しています。

新入生の皆さんに直接関連するものとしては、まず「短期海外研修」を挙げることができるといえる。本センターは、アメリカ、中国、韓国、ニュージーランド、オーストラリアへの短期海外研修を企画・運営しており、参加を希望する学生への指導・相談、事前指導を行っています。その他にも、留学生の日本語学習や活動を支援す



2014年8月 国際センター サマースクール

る「学生サポーター制度」、日本人学生・留学生が共に学ぶ「国際交流の扉を拓く」(共通教育)、交流協定校などから留学生を受け入れる「国際センターサマースクール」、本学で学ぶ留学生と交流する「多文化交流会」などのイベントを開催しており、本学にいなから異文化交流を体験できる機会を数多く提供しています。

「海外に留学したいんだけど、何から始めたらいいのか」、「留学生と交流したいんだけど、どこに行ったらいいのかわからない」という方は、是非一度国際セ

ンターに連絡してみてください。留学に関する各種相談も受け付けていますので、気軽に相談してください。

国際センターに連絡したい時は、国際交流係に連絡してください。

国際課 国際交流係

E-mail:

ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

●常三島地区: 共通教育4号館1F

●蔵本地区: 蔵本会館2F



徳島大学 生活協同組合

徳島大学生生活協同組合専務理事

清水 麻理子 (しみずまりこ)

徳島大学へのご入学おめでとうございます。皆さまの大学生活が充実したものとなりますよう心より願っています。

徳島大学生協は、徳島大学の学生・教職員を構成員とする学内の福利厚生団体です。国立大学法人徳島大学より委託を受け、「徳島大学の福利厚生の実と魅力ある



食生活相談



SHOKO-LA (しよら) 企画台



自転車無料点検



LUCK-LA (らくら) コンビニ

大学づくりに貢献すること」を目的とし、様々な事業やサービスを行っています。食堂・購買・書籍(教科書)・住まい紹介や管理・旅行サービスなど、学生生活に必要なものを提供しています。

学生の皆さまには、大学生活を健康安全に過ごしてほしいと願っています。そのためには、「食べること」ともいえるときたために「共済・保険に加入しておくこと」が必要かと思えます。ほとんどの学生が、大学の講義、サークル、アルバイトと忙しく、食生活が乱れがちです。生協食堂では豊富なメニューを取り揃え、一日3食しっかり食べていただけるようお待ちしています。ぜひ生協食堂をご利用いただき、規則正しい食生活を送ってもらいたいと思います。

また生協では、学生同士のた

すけあい」を目的とした「学生総合共済」や、他人に迷惑をかけ、損害賠償を請求された場合に保障する「学生賠償責任保険」を取り扱っています。思いがけない事故や病気、災害に備え、学生どうしで力を合わせて安心・安全な学生生活をおくろうという趣旨の制度です。徳島大学では多くの学生が加入しています。学生たちが自主的に自転車やバイクの無料点検会や、栄養士による食生活相談会を学内で実施し、事故や病気を防止する活動に積極的に取り組んでいます。

私たち生協は、学生の皆さんが安心して充実した学生生活を送り、勉学に励むことができるようお手伝いしていきたいと思っています。

『学生生活で困ったときは生協へ』ご相談ください。

同窓会から

寄せられた

メッセージ

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

医学部医学科の同窓会は青藍会と称し、会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に尽くすことを目的としています。

本学部のルーツは1943年に開学した徳島県立医学専門学校にあり、今年で72周年を迎えます。現在の会員総数は、5776名です。全国に13の支部を擁し、約5200名の方が北は北海道から南は沖縄県までの全国各地で、また、20名余りの方が海外で活躍しています。医学部医学科新入生の皆様は、本会の準会員として登録されています。

事務局連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科青藍会 Tel: 088-633-3180
E-mail: seiran@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.seirankai-tokushima.jp/

青藍会 医学部医学科同窓会

栄友会 医学部医学科栄養学科同窓会

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。皆様の大学生活が実りあるものとなりますことを心より願っています。栄友会は、医学部医学科栄養学科(旧栄養学科)の卒業生・在学生・教職員などで組織された同窓会です(現会員数2736名)。1964年に全国で唯一の医学部に設置された栄養学科は、昨年4月に改組し医科栄養学科となりました。医科栄養学科の第2期生(栄友会52期生)となる皆様は、これからの日本の栄養学を担っていく人材として期待されています。

栄友会は様々な活動を通じて、会員の皆様に支援しています。

事務局連絡先 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
徳島大学総合科学部内 徳島大学渭水会事務局
Tel: 088-656-7293 / Fax: 088-657-7467
E-mail: info@isuikai.jp URL: http://www.isuikai.jp

蔵歯会 歯学部同窓会

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

睦眉会は、徳島大学医学部保健学科、および同大学院保健科学教育部、並びに前身校をすべて含めた同窓会で、卒業生、在校生、教職員で組織されています。平成8年に発足し、会員名簿や会報の発行、総会や講演会の開催などを行い、会員相互の親睦と母校の発展のために活動しています。

現在の会員数は、6324名です。新入生の皆様は、本会の準会員として登録されています。また今年度より、入学時に同窓会名簿を進呈し、就職や進学に役立てていただくよう支援しています。

事務局連絡先 〒770-8509 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部保健学科内 睦眉会事務局
Tel / Fax: 088-633-9067
E-mail: mutsumi.jim@gmail.com URL: http://mutsumi.web5.jp

睦眉会 医学部保健学科同窓会

工業会 工学部同窓会

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

立派な技術者・研究者を目指して充実した大学生活を送られることを願っております。

工業会は徳島大学工学部・大学院、ならびにその前身校の卒業生・修士生と教職員を会員とする同窓会組織です。設立は1933年で、現在の会員数は約3万人です。新入生の皆様は卒業するまでは準会員として登録されています。

工業会には、全国に16もの支部があり、会員相互の世代を超えた交流を積極的に支援しています。このネットワークは皆様が将来就職活動をする際のみならず就職後も頼もしい味方となります。

事務局連絡先 〒770-8505 徳島市庄町1-78-1
徳島大学薬学部内薬友会事務局
Tel: 088-633-7250 / Fax: 088-633-9517
E-mail: reunion-ph@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/campus_life/alum/reunion/

歯学科ならびに口腔保健学科へのご入学おめでとうございます。

歯学部同窓会は平成2年に設立され、関東、東海、京都、滋賀、大阪、兵庫、岡山、香川、愛媛、高知、徳島、大学に支部組織があり、それぞれの地域でも活発に活動しています。会員数は、歯学科32期1763名と口腔保健学科4期59名の計1822名です。卒業前には、進学就職ガイダンスと支部説明会を開催し卒後の進路相談をしています。また、卒業時に記念品を贈呈、卒業後も定期的な名簿や会報の提供をしています。在学時から皆さんの支援を惜しませないので気軽にご利用ください。

事務局連絡先 770-8504 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学歯学部同窓会
Tel: 080-6392-7362 / Fax: 020-4622-5181
E-mail: honbu@dentclin.tokushima-u.ac.jp URL: http://www.tokudai-d.net

事務局連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学工学部内 Tel / Fax: 088-656-5432
E-mail: office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/

新蔵地区 キャンパスマップ

Shinkura Campus Map

常三島キャンパスまで徒歩15分



日亜会館

1階: ガレリア新蔵、地域創生センター
徳島大学の地域連携・社会交流活動拠点として、①各種イベントの開催、②教育研究活動の展示紹介などに活用されます。「ガレリア新蔵」エリアにはLEDディスプレイや可動式展示スクリーンを設置し、展示室では、様々なテーマの特別展示を行っています。

2階: 国際センター
大学の国際関連の中心部局です。外国人留学生に対しては、学生のレベルに合わせた日本語教育、日本や徳島の文化理解教育、生活指導や学習指導を行っています。また、日本人学生の海外留学を支援したり、短期語学留学の企画・運営や留学相談をしたりしています。加えて、大学のグローバル化の推進などに係る業務や、地域住民や高校などと連携した徳島地域の国際化のための事業を行っています。

3階: 放送大学徳島学習センター

4階: 留学生宿舍



銀行ATM
阿波銀行・徳島銀行
徳島信用金庫 共通
ゆうちょ銀行ATM

地域創生・国際交流会館

地域社会の国際化や地域課題の解決を支援する場及び教職員、学生の国際化を強力に推進するための場を提供する拠点となる施設の整備

生協売店[1階]

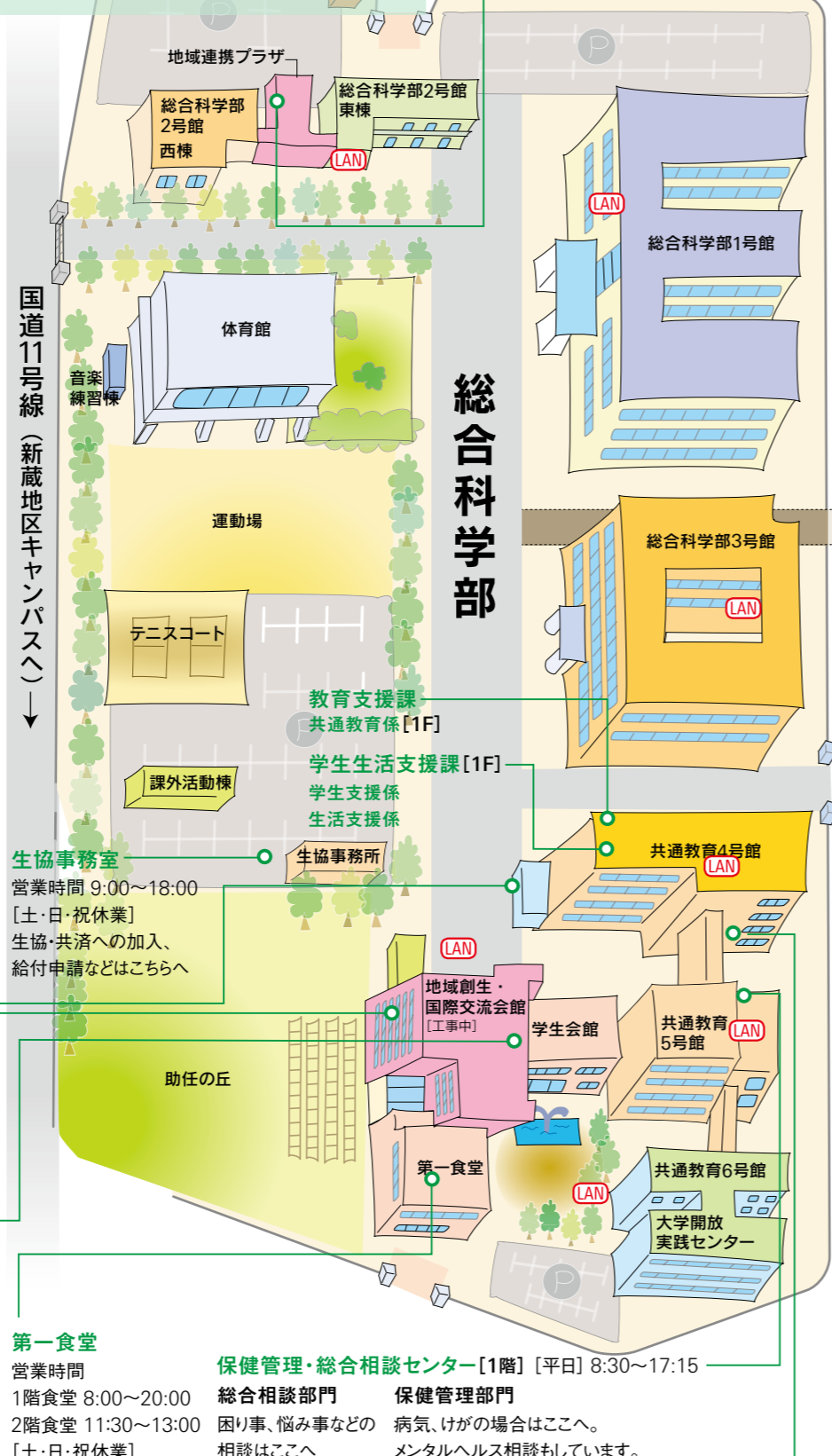
営業時間 8:15~20:00[土・日・祝休業]
旅行代理店もあります。



総合科学部自習スペース
スタジオ
総合科学部3号館東1~3階
(授業・講演等に使用する場合があります)のみのみ
設備: 机、椅子、自動販売機(1階のみ)
全学共通教育センター学習支援室
総合科学部3号館東1階
スタジオ一角机、椅子、辞書、参考書籍、ホワイトボード等。教員の待機時間には、学習の相談にのってくれます。
全学共通教育センター学生自習スペース
共通教育5号館2階
机、椅子、自動販売機



地域連携大ホール
(常三島けやきホール) [2階]



第一食堂
営業時間
1階食堂 8:00~20:00
2階食堂 11:30~13:00
[土・日・祝休業]

保健管理・総合相談センター[1階] [平日] 8:30~17:15
総合相談部門 保健管理部門
困り事、悩み事などの 病気、けがの場合はここへ。
相談はここへ。 メンタルヘルス相談もしています。

キャリア支援室[1階] 就職に関する相談はここへ

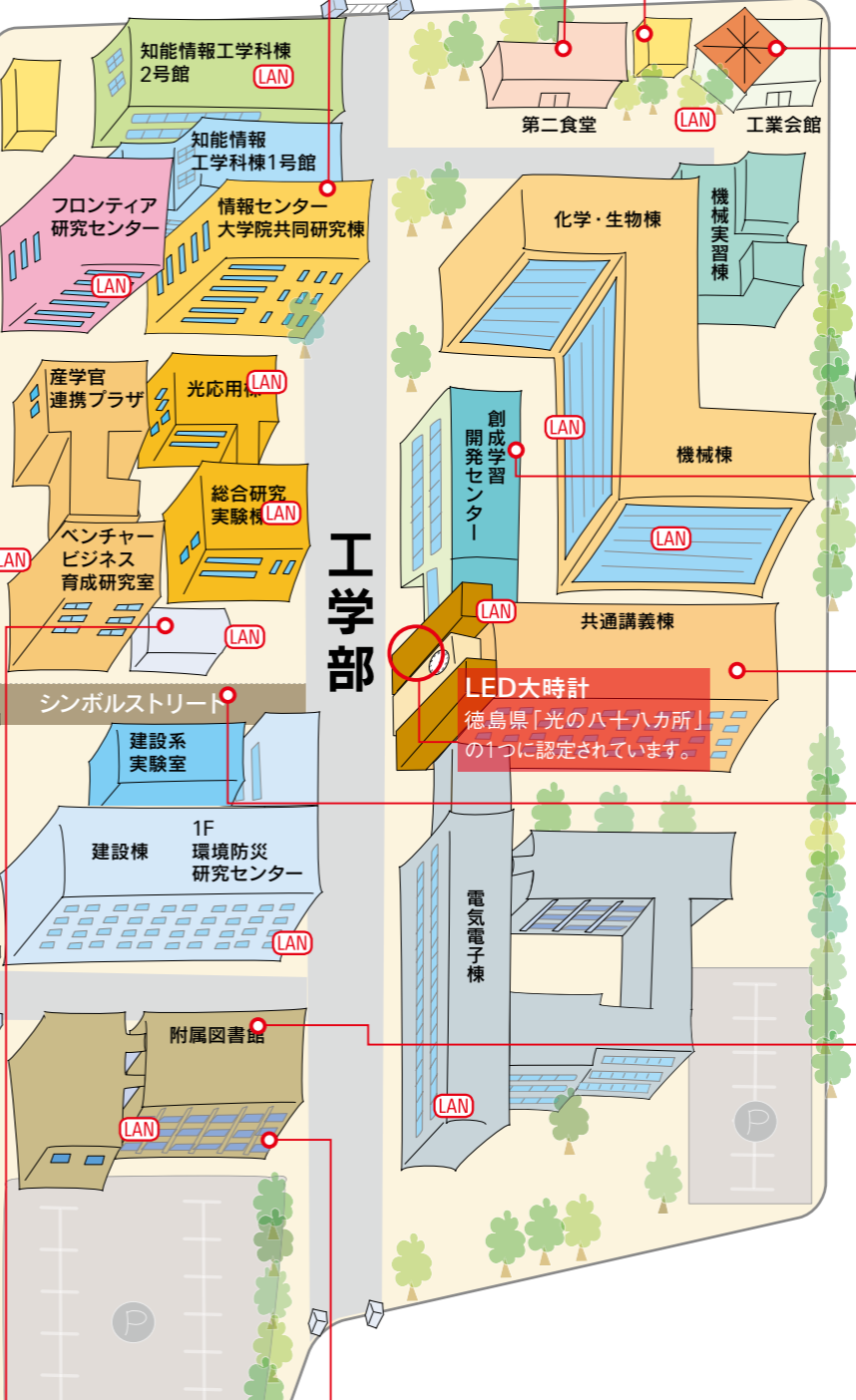
情報センター
2階のパソコンは
22:00まで使用可能
3階のパソコンは
18:00まで使用可能

creA (クレア)
営業時間
[平日]
11:30~13:30
[土・日・祝休業]



カフェテリア
食事、自習等自由に
使用できます。

生協ミニショップ
Emi*re (えみり)[1階]
営業時間
[平日]
10:00~20:00
[土・日・祝休業]



生協CAFE
San-Jyo (さんじょ)
営業時間 [平日] 10:00~17:00
[土・日・祝休業]



図書館横 休憩所

総合科学部 工学部

常三島地区 キャンパスマップ

Josanjima Campus Map

工学部中庭
[キャンパスモール]



国際連携教育開発センター [1階]

シンボルストリート



附属図書館
開館時間
[平日]
8:30~22:00
[土・日・祝]
10:00~17:00
学習・パソコン利用

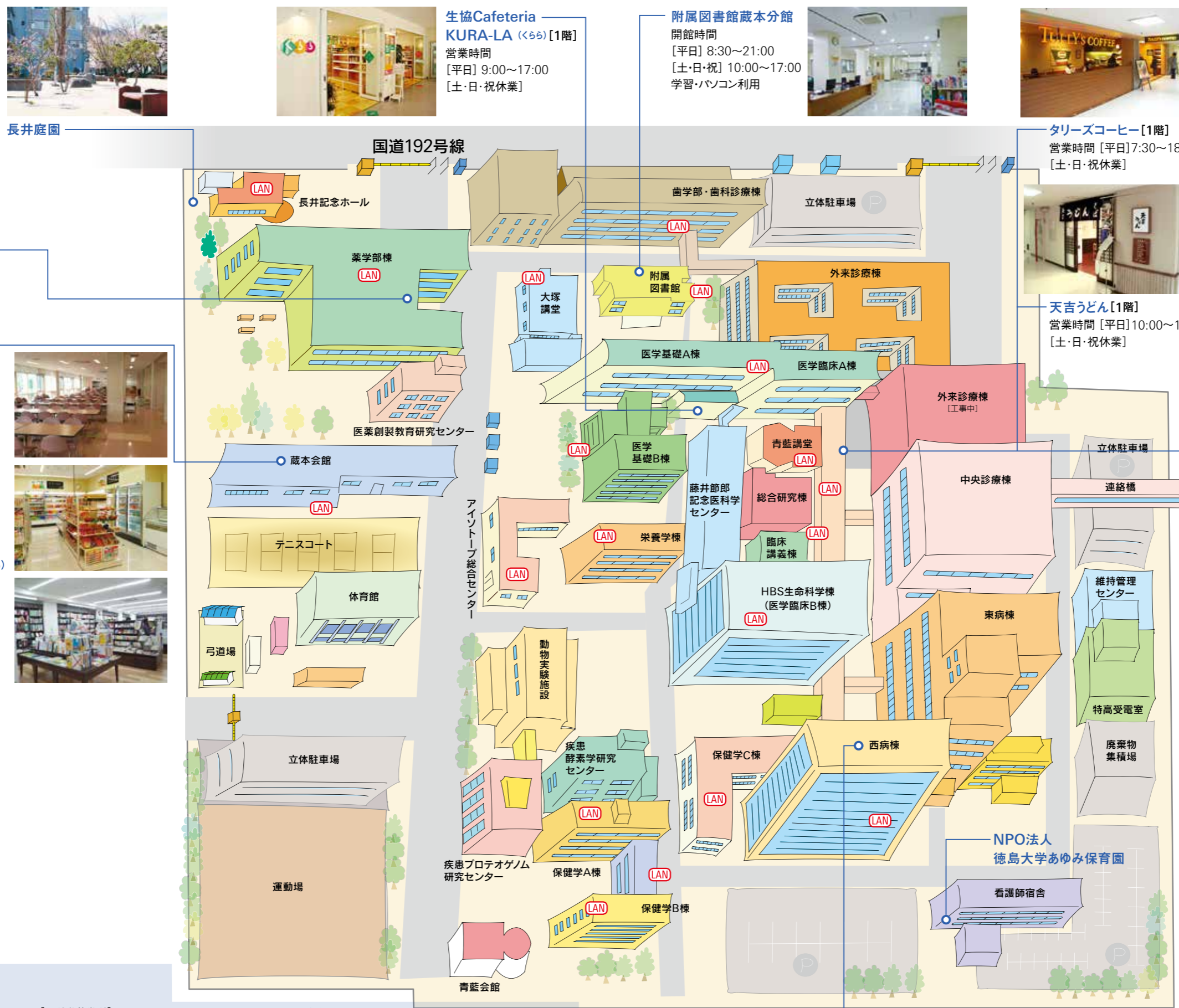


工学部自習スペース

自習エリア
■工学部共通講義棟2~6階
■中央エレベータ前にパーテーションで区切られたエリア。エアコン完備。机・椅子(合わせて150名分)4階に自動販売機(飲料)
学びの相談室
■工学部共通講義棟3階西端
その他
■カフェテリア(第二食堂) / 設備: 机、椅子
■学生会館1階 / 設備: 机、椅子、雑誌

蔵本地区 キャンパスマップ

Kuramoto Campus Map



長井庭園



生協Cafeteria
KURA-LA (くらら) [1階]
営業時間
[平日] 9:00~17:00
[土・日・祝休業]



附属図書館蔵本分館
開館時間
[平日] 8:30~21:00
[土・日・祝] 10:00~17:00
学習・パソコン利用



タリーズコーヒー [1階]
営業時間 [平日] 7:30~18:30
[土・日・祝休業]



薬学部スタジオプラザ [1階]
勉学に、語らいに



天吉うどん [1階]
営業時間 [平日] 10:00~18:30
[土・日・祝休業]



LAWSON [1階] 年中無休
営業時間 7:00~22:00



キッチン SAKU-LA (さくら)
営業時間 [平日] 8:00~20:00
[土・日・祝休業]



コンビニ LUCK-LA (らくら)
営業時間 [平日] 9:00~19:00
[土・日・祝休業]



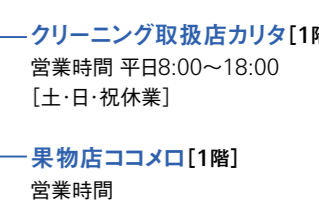
書籍・文具・PC SHOKO-LA (しょころ)
営業時間 [平日] 9:00~19:00
[土・日・祝休業]



病院内郵便局 [1階]
営業時間 [平日] 9:00~17:00
[土・日・祝休業]



厚仁会売店ボンタ [1階]
営業時間 [平日] 8:00~18:00
[土・日・祝休業]



クリーニング取扱店カリタ [1階]
営業時間 平日 8:00~18:00
[土・日・祝休業]



果物店ココメロ [1階]
営業時間
[平日] 8:30~17:30
[土・祝] 8:30~12:00
[日] 8:30~12:00

[2階]
アルバイト情報コーナー、
ソフトボール用品等の無料貸出
体育館、和室の予約もこちらで。

キャリア支援室蔵本分室
[平日] 13:00~21:00
国際課蔵本分室
[平日] 8:30~17:15
保健管理・総合相談センター
[平日] 8:30~17:15
保健管理部門(蔵本保健室)
病気、けがの場合はここへ
総合相談部門
困り事、悩み事などの相談はここへ

自習スペース

- 医学部**
[医学科] (学年指定)
■ 学生自習室(2室) / 臨床講義棟1階
■ チュートリアル室(13室) / 医学基礎B棟3-4階
■ 学生自習室(3室) / 医学部基礎B棟3階
■ 学生自習室 / HBS生命科学棟1階
■ クリクラ控室 / 医学臨床A棟2階

- [医科栄養学科]**
■ 学生支援室 / 栄養学棟2階 202
[保健学科]
■ 看護学専攻学生自習室 / 保健学A棟1階 5階
■ 放射線技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟3階
■ 検査技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟5階
■ 学生自習室 / 保健学C棟1・2階 / 保健学A棟1階

- 歯学部**
■ 学生控室 / 歯学部2階
ソファ、掲示板、自動販売機(飲料)、コピー機、ロッカー
■ 学生自習室 / 歯学部4階

- 薬学部**
■ 交流広場 / 薬学棟西側
机、椅子、テント



レストラン「Sora」
[西病棟11階]
営業時間
[平日] 9:00~17:00
[土・祝] 9:00~16:00
[日休業]



美容室 [2階]
営業時間
[平日] 9:00~17:00
[土・日・祝休業]

銀行ATM [1階]
阿波銀行 / 徳島銀行 / 四国銀行
営業時間
[平日] 8:45~18:00
[土] 9:00~18:00 [日・祝休業]
※四国銀行のみ平日・土・日・祝
8:00~21:00

徳島大学

4月・5月

● 入学式 (4月6日)



● 五月祭 (5月)

五月祭は、主として新入生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、毎年5月に開催しています。ステージ、模擬店、貴歩企画などで交流の輪を広げます。



6月・7月

● 四国地区

大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立(短大を含む)大学の学生が参加します。



8月・9月

● 科学体験フェスティバル in徳島 (8月8日・9日、工学部)
● 徳島大学 オープンキャンパス (8月上旬～中旬、常三島・蔵本キャンパス)



10月・11月

● 開学記念日 (11月2日)

● 大学祭 (10月31日～11月1日)

大学祭はこれまで62回行われ、本学の課外活動としては最も歴史のかつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向をこらした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。



12月・2016年1月

● 中・四国国立大学連合演奏会・連合美術展覧会

学生の健全なる文化の発展と学生相互の親睦をはかることを目的として、中・四国の国立大学法人9大学の学生が参加して行われます。

2月・3月

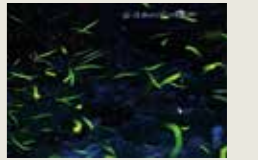
● 卒業式 (3月23日)



徳島

● 第29回美郷ほたるまつり (5月下旬～6月中旬)

吉野川市美郷地区は地区全域が「美郷のホタル及びその発生地」として国の天然記念物に指定されており、ホタルが飛ぶ流域面積、数、期間とも全国でも有数の地域です。



● 第34回ベートーベン「第九」交響曲演奏会 (6月7日、鳴門市文化会館)

1918年6月1日、鳴門市大麻町板東にあったドイツ兵俘虜収容所の俘虜たちが、アジアで初めてベートーヴェンの「第九」交響曲を演奏したのになんで、毎年6月に市民が参加できる「第九」演奏会を開いています。



● ひわさうみがめトライアスロン (7月20日、美波町)

● 阿波踊り (8月中旬、県内各地)

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連(踊りのグループ)が参加します。



● 阿波の狸まつり (11月上旬、徳島市藍場浜公園)

ステージではショーやコンサートが行われます。各市町村の特産品も販売されます。

● 妖怪まつり

(11月下旬、三好市山城町)

妖怪のこなきじじいの故郷である三好市山城町上名藤川谷周辺で開催されます。



● 徳島駅伝

(1月上旬、県内各地)

昭和30年から続く伝統ある大会です。中学生から実業団選手まで、世代を超えて出場します。

● 第27回ビッグひな祭り

(2月下旬～4月上旬、勝浦町人形文化交流館(仮設展示場))

会場には、高さ約8mのひな壇に約3万体のひな人形を飾り付けます。



総合科学部 社会創生学科 3年
原 将希 (はらまさき)



蔵本おそうじ後、メンバーと共に。(本人: 2列目左から4番目)



ごみ拾い後のごみ分別



上勝キャンドルナイトプロジェクトにて、地域の方から伝授。

皆さんこんにちは。徳島大学総合科学部社会創生学科環境共生コース3年の原将希と申します。私は、徳島県的美波町出身であり、生粋の徳島人です。私の大学生活を変えたのが地域活動であり、環境系のNPO団体である『NPO法人グリーンボード徳島チーム』に出会ったことでした。1年生の頃の私は、勉強やボランティア活動をしていたのですが、「何か自分のやりたいことは違う、なかだか大学生活が物足りない」という気持ちがありました。そして、2年生になった時に私は「このまま

ではいけない。何か新しいことをして、自分自身を変えたい」と思い、地域活動を精力的にしていた先輩に相談しました。するとその方は、『NPO法人グリーンボード徳島チーム』を紹介してくれました。私は、何としても変わりたいという思いがあったため、この団体の活動に参加することを決意し、1人で活動にお邪魔させていただきました。初めは、緊張して、「やっていけないのだろうか」と不安ばかりでしたが、実際に行ってみると、メンバーの方々が優しく話しかけてくれ、活動中もメン



ごみゼロ阿波踊り終了後の一枚。(本人: 前列左から2番目)

バーの方々楽しい会話をしながら真剣にゴミ拾いをするのができ、時間が過ぎるのがあっという間でした。私は活動を終えて「こんなに楽しみなながらできるボランティア活動があったのか」と衝撃を覚えました。この経験をしたら、私は、グリーンボード徳島チームの虜になり、現在までほぼ毎回活動に参加しています。グリーンボード徳島チームの活動は基本的に徳島駅周辺や新町の水際公園の周辺をお掃除しますが、時には蔵本や佐那河内でのお掃除、阿波踊り期間中にゴミ分別ブースを設営、上勝でキャンドルナイトイベントを開催などといったこともします。これらの活動で地域の人たちと密接に交流することができ、大学生活では、出来もしなかった経験をすることができました。また、周りに尊敬する先輩、後輩、同級生がいて、その人たちから刺激を受けながら活動しています。私はグリーンボード徳島チームの活動に参加して、素晴らしい仲間に出会うことができ、本当に良かったと感じています。これからも、もっと多くの仲間に出会いたいです。もし仮に皆さんが、やりたいことがあるのに一歩がなかなか出せない時は、とにかく何も考えずに

My Life Situation

趣味
地域活動、DVD鑑賞、スポーツ(特に野球)、川遊び、釣り、サバイバルゲーム



メンバーたちとごみ拾い中

そこに飛び込んでみてください。意外に飛び込んでみると上手いことがあります。そして、挑戦をするたびに新たな可能性をGETしていると考えると何かワクワクしませんか。ぜひ、「楽しそう」と思ったことは挑戦してみてください。今後の皆さんの大学生活でのご活躍に期待しております。最後になりましたが、このような執筆の機会を与えてくださった関係者の皆様に感謝を申し上げます。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。